



Title	「デザイン理論」投稿規定/「デザイン理論」投稿宛先（編集事務局）/「デザイン理論」執筆要領/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2014, 64, p. 113-115
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56293
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正, 昭和60年11月8日改正
平成2年11月10日改正, 平成6年7月9日改正
平成14年11月9日改正, 平成18年11月18日改正
平成24年11月24日改正

1. 内 容：デザインに関する未発表の論文, 研究報告等。
2. 投稿資格：本学会員
3. 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
4. 査 読：学術論文については, 編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は, A 無条件採用, B 条件付採用, C 不採用とする。
5. 執筆要領：別に定める。
6. 提出期限：基本的には随時。ただし, 学術論文は, 査読のため, 5月春号掲載希望は, 1月15日, 11月秋号掲載希望は, 6月30日を締め切りとする。学術論文以外は, これは投稿予告の期限で, 実際の投稿期限は, それぞれ3月31日, 8月31日とする。
7. 提 出 先：意匠学会編集委員会

付記（著作権について）

- ・本学会誌に掲載された論文の著作権および編集出版権は本学会に帰属するものとする。
たとえば論文集または電子データの形で出版する権利, またデジタル・アーカイヴ化等の権利である。
- ・ただし著者本人が利用する場合には制約を受けない。
- ・本学会は, 執筆者の所属機関においてなされる本誌に掲載された論文の電子的な応用（所属機関のリポジトリでの公開）を妨げない。

なお以上の規程は, 平成24年11月24日より発効する。

「デザイン理論」投稿宛先（編集事務局）

意匠学会『デザイン理論』編集委員会（投稿票を添付のこと）

〒690-8504

鳥根県松江市西川津町1060

鳥根大学法文学部 伊集院研究室気付

TEL : 0852-32-6213

1. 原稿

- ・原稿は、ワープロあるいはパソコン・ソフトで作成することが望ましい。
- ・A4大の用紙に1行42字、1頁32行程度で作成すること。
- ・学術論文の場合は、A4サイズのレイアウト見本4部同封して編集委員会宛に投稿すること。(テキスト・データ、図表版下あるいは図表データは査読を経て掲載が決まった段階で、最終原稿として最終的なレイアウト見本とともに編集委員会宛に郵送する。)
- ・研究報告の場合は、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を郵送する。
- ・書評、図書紹介、発表要旨については、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を編集事務局に郵送するか、あるいは編集担当者に電子メールに添付して送付する。
- ・学術論文、研究報告、等の本文データのファイル形式はプレーン・テキストかワードに限る。
- ・学術論文、研究報告、等の図表をデータで提出する場合、ファイル形式はJPEG、TIFF等の一般的なものとし、解像度、画像サイズ等を適切に設定すること。またその場合も必ずデータのプリントアウトを添付すること。
- ・原稿用紙を使用する場合は、本文は400字詰横書き原稿用紙を使用し、レイアウト見本を付す。
- ・投稿に際しては、原稿のコピーを手許に保存すること。

2. 原稿の分量

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文、図

版、図表、注等をすべて含めて、刷り上りで、14頁以内。(400字詰原稿用紙で約45枚)

- ・書評の場合は、刷り上りで2頁、4頁、6頁等偶数頁に収まること望ましい。
- ・図書紹介及び発表要旨の場合は、刷り上りで2頁に収めること。

3. 原稿の構成

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文(図版、図表、注を含む)とは別に欧文要旨(原則として英文)を添付すること。
- ・本文第1頁に、表題、著者名、キーワード、目次を付すこと。
- ・欧文要旨は、刷り上り1頁とする。語数は約200語。当該言語を母国語とする人による校閲を得ておくこと。
- ・キーワード(和文と英文)は、それぞれ5語以内とする。

4. 図・表のレイアウトなど

- ・図版はモノクロームとし、位置の指定、大きさ、レイアウト、必要なトリミングなどはすべて執筆者が行うこと。
- ・図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。
- ・当学会は、著作権についての責任は負わない。

付記

- ・学術論文は、口頭発表を経てから投稿されることを原則とする。
- ・口頭発表を経た投稿者は発表した例会または大会について、投稿票の所定の欄に以下のように記入すること。

第●●●回研究例会／大会

場所：●●大学

年月日：20●●年●月●日

編集後記

『デザイン理論』64号をお届けします。本号の発行にあたり、論文著者、発表要旨や図書紹介の執筆者、査読を担当くださった会員など、多くの方々にご協力いただきました。感謝申し上げます。

本号をもちまして、右記委員による編集は最後となります。本委員会では、歴代委員会の功績に敬意を表しつつ、今日的な問題に対する検討を重ねてきました。その一つに、例会や大会との連動性があります。口頭発表を基とする投稿を原則とし、掲載論文にもそのことを明記するようにしました。口頭発表後の質疑応答を通しての議論は、論文の深まりと展開にかなり有意義であることが理由の一つです。このことは、投稿された論文にかかわることだけでなく、例会・大会、そして『デザイン理論』がより有機的につながり、学会全体の活動の活性化につながると考えます。

本誌の「投稿宛先」にも記載しましたが、編集事務局は、65号より伊集院新委員長のもとと島根大学にうつります。『デザイン理論』を通しての活動がさらに活発になることを確信しています。最後になりましたが、59-64号の6号にわたって、査読や編集が円滑にいくよう精力的に取り組んでくださった編集委員各位に心よりお礼申し上げます。

(吉村典子)

編集委員 (査読者を含む)

吉村典子 (委員長)、伊集院敬行 (副委員長)、大森正夫、面矢慎介、佐藤敬二、島先京一、多田羅景太、常見美紀子、廣田孝、三木順子、藪亨、山口良臣、横川公子

査読者 (敬称略)

青木加苗、天貝義教、岩田章吾、川島洋一、高安啓介、多田羅景太、常見美紀子、永井隆則、畑智子、村田裕子、山形政昭、山本政幸

デザイン理論 64号

Journal of the Japan Society
of Design, 64/2014

発行日 2014年8月31日

発行 意匠学会

事務局 〒560-8532

大阪府豊中市待兼山町1-5

大阪大学大学院文学研究科 美学研究室内

FAX : 06-6850-5121

e-mail : japansocietyofdesign@gmail.com

発行者

意匠学会『デザイン理論』編集委員会

〒981-8557

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

宮城学院女子大学学芸学部 吉村典子研究室気付

TEL/FAX : 022-277-6108

e-mail : design.riron@gmail.com

編集責任者 吉村 典子

印刷所 (株)北斗プリント社

TEL : 075-791-6125
